



今月のテーマ 「簡易ナースコールシステムのご紹介」

テクノスジャパンでは、本格的なナースコール設備が導入できない、または追加できない時に簡単に設置ができる「簡易ナースコールシステム」があります。今回はその「簡易ナースコールシステム」について紹介させていただきます。

「簡易ナースコールシステム」とは？



「既設建物の転用」、「ナースコール設備工事不可能」などの理由で本格的なナースコール設備が導入できない場合があります。

呼出しだけでいから簡単に設置できて、すぐに使いたいという要望に応じて製品化した「簡易ナースコールシステム」です。

施設規模や入居者数の実情に応じて、移設・増設がすぐにできますので、最適な環境とコストで運用できます。

簡易ナースコール種類

「簡易ナースコール」



固定受信器での構成



携帯受信器での構成

「押ボタンスイッチ」を押すと専用受信器にお知らせします。**ケーブルタイプの離床センサーを増設**できます。ナースコールのない場所や、壊れていて使えないときなどにすぐに設置し使えます。

「かなコール」



「押しボタンスイッチ」を押すと専用受信器にお知らせします。**コードレスタイプの離床センサーを増設**できます。受信器1台につき、**80名まで報知**ができ、**パソコンでも管理**ができます。廊下灯、かなスイッチ（コードレススイッチ）の対応が可能。

特長

- ① ナースコール設備がない環境でも、簡単に呼出し機能を追加できます。
- ② 工事が不要ですぐに使えます。
- ③ 弊社の「離床センサー」との併用が可能です。
- ④ 受信器は、持ち運べる「携帯受信器」、詰所に置ける「固定受信器」があり、施設に合った運用ができます。



簡易ナースコールシステム 導入事例

施設 K 様
(岐阜県郡上市)



要望

建物が古くナースコール設置工事が不可能なため
工事が不要のナースコールシステムをご希望

導入内容

簡易ナースコール	×20 台	マットスイッチ	×20 台
ハイパー受信器	× 4 台	ポケット受信器	× 4 台
無線中継器	× 4 台		

導入後の状況

- 離床センサーの併用は、転倒・転落事故の可能性のある入居者の動きを検知できるので事故防止にも有効
- 職員による訪室の回数が減った
- また携行しているポケット受信器も小型なので持ち運びがし易く作業の邪魔にならない
- 入居者の状況によって、呼出し押しボタンで職員に知らせる
- コールマットで職員に知らせるなど、設定を自由に変更できる点が良い



居室：呼出し



居室：マットスイッチ



トイレ：呼出し

広い環境でも大丈夫！ 通達距離の延長に！



無線中継器

通達距離：約 80～100m（見通し）

無線中継器を設置することにより、専用受信器の利用範囲が広がります。

